

6月の農業情報

タイトル 夏期高温対策として遮光資材の比較試験を開始

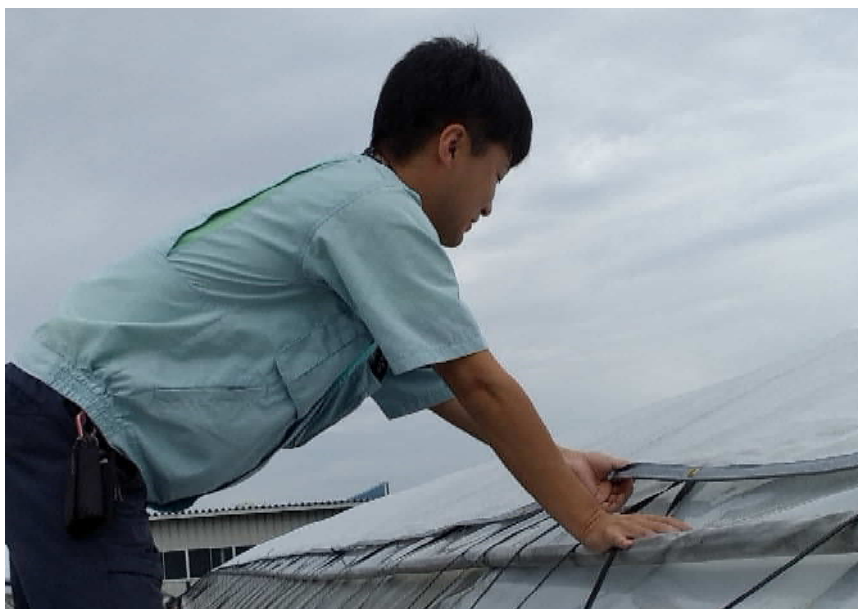
とき 令和6年6月13日(木)

ところ 豊川市御津町 イチゴ育苗ハウス

主体・対象 JAひまわり

内容

近年、夏期の温度上昇により施設野菜では高温障害が増加傾向にあります。そこで、JAひまわりでは施設野菜の生産者に高温対策の選択肢を示すことを目的として、イチゴの育苗ハウスを活用して遮光資材の比較試験を開始しました。内部遮光資材、外部遮光資材、塗布型の外部遮光資材の3資材を比較し、ハウス内の照度、温度（昼夜間）、サーモグラフィによる植物体の温度、さらにハウスの夜間温度に影響するハウス内の鉄骨温度も調査します。今後、農業改良普及課とJAは費用、遮熱効果、伸展作業性や塗布の手間などを含めて総合的に比較し、生産者が選択しやすいように試験結果を取りまとめる予定です。



遮光資材の伸展を確認するJA職員